

新病院建設までの想定される医療機能の再編

資料3

新病院建設までの過渡期における医療機能の向上及び経営の効率化を行うための方策について、「救急」「施設」「診療科等」「その他」の4つの視点から、それぞれの効果と課題等を次のようにまとめた。

区分	再編策(例)	効果	課題
救 急	救急対応の病院を1か所に集約	・ 内科系、外科系の医師2名による救急体制の確立 ・ 地域完結型医療体制の充実 ・ 医師、医療技術員等の負担軽減	・ 患者の搬送時間が長くなる場合がある
施 設	3病院から2病院へ再編	・ 医師の集約による医療機能の向上 ・ 施設の維持管理経費の削減効果が高い	・ 施設規模に対して職員の数が過剰となる ・ 病床数、診療室等の容量が不足 ・ 区域外への患者流出 ・ 施設の再編には調整事項が多く、時間を要する ・ 診療収入の減少
	3病院から1病院へ再編	・ 医師の集約による医療機能の向上 ・ 施設の維持管理経費の削減効果が非常に高い	
診療科等	周産期・小児医療などの集約	・ 医師の集約による医療機能の向上 ・ 医師の負担軽減	・ 複数の診療科を受診する患者への負担増 ・ 区域外への患者流出
その他	医療材料、各種業務委託等の一元化	・ 事務負担の軽減 ・ 発注規模拡大による経費削減	・ 医療機器等の規格の統一を必要とする場合がある

東海市民病院、知多市民病院 診療科及び常勤医師数の状況(平成21年8月1日現在)

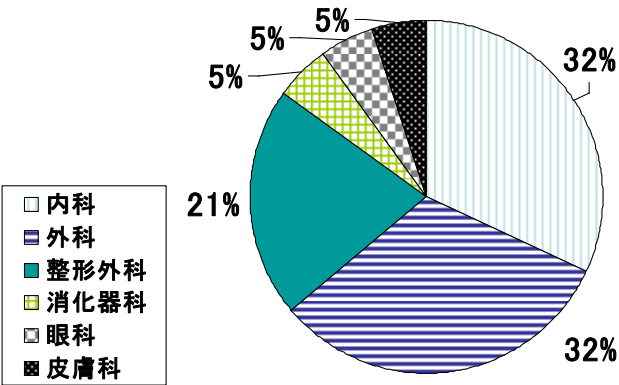
(単位:人)

				内 科											外科	小児科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	皮膚科	泌尿器科	歯科口腔外科	放射線科	麻酔科	その他（健康管理センター）	計
				内科	内分 代謝 内分泌科	消化器科	消化器内科	循環器科	循環器内科	呼吸器科	呼吸器内科	腎臓内科	精神科	神経内科															
東海市民病院	本院	診療科	○		○		○		○			○	○	○		○		○	○	○	○								
		医師数	3		2		2							6	3	3		2	1	1	1						24		
	分院	診療科	○		○								○		○			○	○	○	○	○				○			
		医師数																	2		1		2			2	7		
知多市民病院		診療科	○	○		○		○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					
		医師数		3		3		4		2	2			5	1	3					1	1	2	2			29		
計			3	3	2	3	2	4		2	2		11	4	6		2		3	2	3	2	4			2	60		

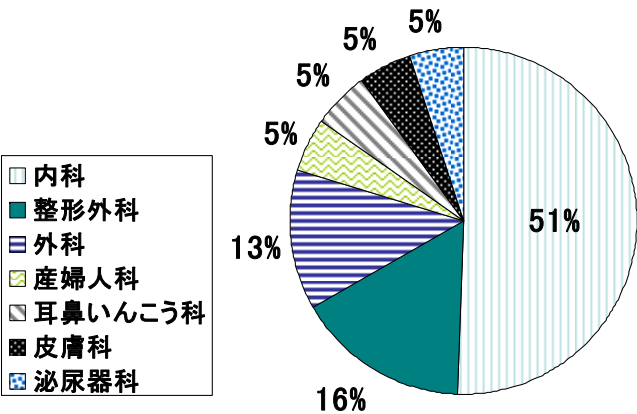
東海市民病院本院、知多市民病院 医師の診療科別の当直体制(21年6月)

医師2人による時間外の救急医療体制は、知多市民病院の土、日、祝日のみとなっている。
診療科別の当直の割合を見ると、東海市民病院本院は内科32%、外科32%、整形外科21%、知多市民病院は内科51%、整形外科16%、外科13%となっている。

診療科別当直割合(東海市民病院本院)



診療科別当直割合(知多市民病院)



時間外の救急医療体制

		東海市民病院本院	知多市民病院
平日の 夜間体制	診療時間	午後5時15分～午前8時30分	午後5時15分～午前8時30分
	医師数	1人	1人
土、日、祝日 の体制	診療時間	午前8時30分～午前8時30分	午前8時30分～午前8時30分
	医師数	1人	内科・外科系 各1人

診療科別当直表 ※上段は、東海市民病院本院、下段は、知多市民病院

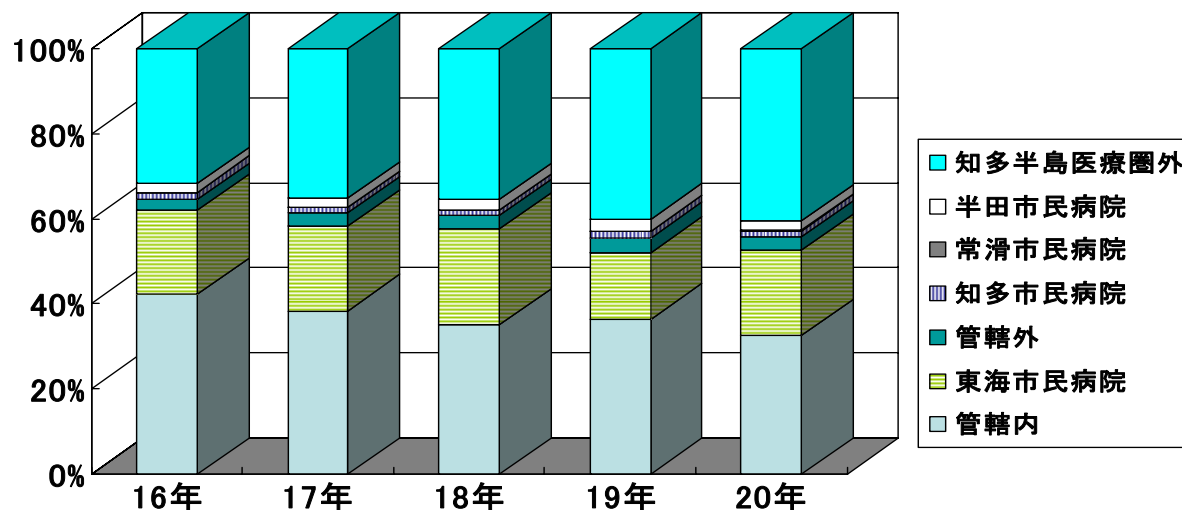
月		火		水		木		金		土		日	
1日	整 泌	2日	眼 整	3日	消 整	4日	内 内	5日	外 皮	6日	整(日直) 内(宿直) 内・耳	7日	外(日直) 内(宿直) 内・外
8日	内 内	9日	整 外	10日	内 整	11日	内 産	12日	整 内	13日	外(日直) 外(宿直) 内・整	14日	眼(日直) 皮(宿直) 内・泌
15日	外 内	16日	外 外	17日	整 耳	18日	外 内	19日	外 内	20日	内(日直) 消(宿直) 内・整	21日	内(日直) 内(宿直) 内・皮
22日	整 内	23日	外 外	24日	整 内	25日	外 内	26日	内 整	27日	外(日直) 整(宿直) 内・産	28日	外(日直) 内(宿直) 内・外
29日	皮 内	30日	内 内	※ 内…内科、消…消化器科、外…外科、産…産婦人科、整…整形外科、 眼…眼科、耳…耳鼻いんこう科、皮…皮膚科、泌…泌尿器科									

救急搬送先別年次別経過

東海市消防本部の搬送状況

東海市消防本部の搬送状況を見ると、東海市民病院合への搬送が約20%、知多市民病院への搬送が約1.4%となっている。

知多半島医療圏外への搬送が約40%となっており、年々、高くなっている。

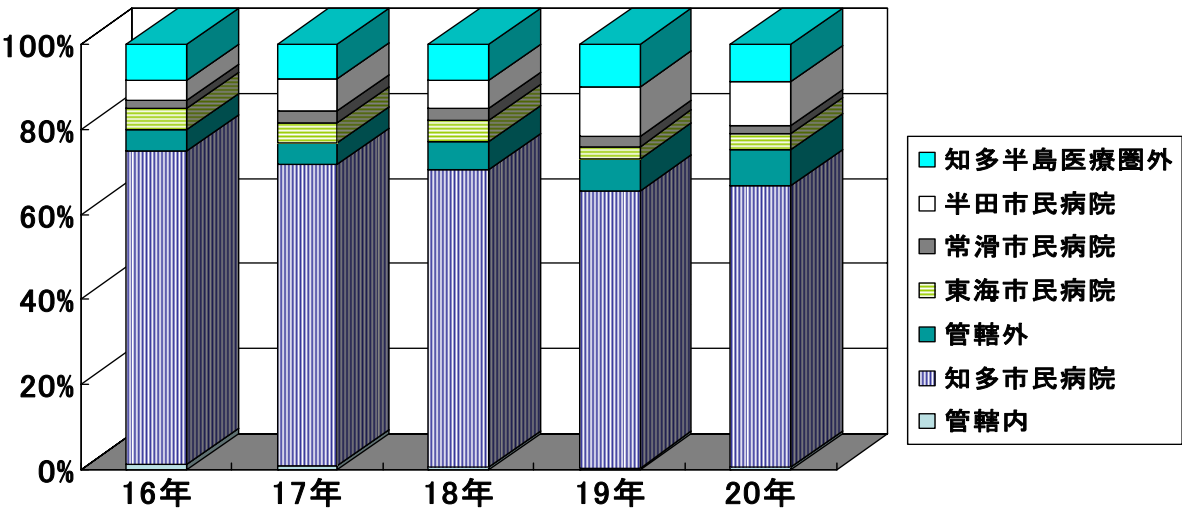


	16年		17年		18年		19年		20年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
知多半島医療圏内	2,132	68.3%	2,121	64.9%	2,146	64.5%	2,019	59.9%	1,985	59.6%
管轄内	1,939	62.1%	1,904	58.3%	1,921	57.7%	1,760	52.2%	1,750	52.6%
うち東海市民病院	618	19.8%	650	19.9%	755	22.7%	529	15.7%	666	20.0%
管轄外	193	6.2%	217	6.6%	225	6.8%	259	7.7%	235	7.0%
うち知多市民病院	49	1.6%	44	1.3%	41	1.2%	47	1.4%	47	1.4%
うち常滑市民病院	1	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	7	0.2%	6	0.2%
うち市立半田病院	62	2.0%	76	2.3%	79	2.4%	91	2.7%	72	2.2%
知多半島医療圏外	990	31.7%	1,145	35.1%	1,182	35.5%	1,351	40.1%	1,345	40.4%
計	3,122	100.0%	3,266	100.0%	3,328	100.0%	3,370	100.0%	3,330	100.0%

救急搬送先別年次別経過

知多市消防本部の搬送状況

知多市消防本部の搬送状況を見ると、知多市民病院への搬送が約66%、東海市民病院への搬送が約4%となっている。
三次救急医療を行う市立半田病院への搬送割合が増加傾向にある。



	16年		17年		18年		19年		20年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
知多半島医療圏内	1,807	91.4%	1,973	91.7%	1,904	91.5%	1,948	89.9%	1,994	91.3%
管轄内	1,482	74.9%	1,542	71.7%	1,467	70.5%	1,421	65.6%	1,457	66.7%
うち知多市民病院	1,455	73.6%	1,524	70.8%	1,454	69.9%	1,410	65.1%	1,441	66.0%
管轄外	325	16.4%	431	20.0%	437	21.0%	527	24.3%	537	24.6%
うち東海市民病院	97	4.9%	103	4.8%	99	4.8%	64	3.0%	83	3.8%
うち常滑市民病院	37	1.9%	61	2.8%	58	2.8%	55	2.5%	44	2.0%
うち市立半田病院	90	4.6%	158	7.3%	139	6.7%	247	11.4%	224	10.3%
知多半島医療圏外	171	8.6%	179	8.3%	176	8.5%	218	10.1%	190	8.7%
計	1,978	100.0%	2,152	100.0%	2,080	100.0%	2,166	100.0%	2,184	100.0%